

平成22年度観光コンベンション部予算概要

予算総額

商工費	352,133千円	(前年度 349,923千円 前年比 100.6%)
労働費	35,181千円	(前年度 23,565千円 前年比 149.3%) <H21は、7月補正後>
土木費	計上なし	(前年度 35,730千円 前年比 100.0%)

主要施策

1 誘致宣伝の充実 105,691 千円

国内外における各種誘致宣伝活動などの強化・充実に努めるほか、北海道新幹線の開業を視野に入れた観光プロモーション活動や函館ブランドの確立など、効果的な観光PRを戦略的に展開する。

(1) プロモーションの推進 72,374 千円

北海道新幹線の開業を視野に入れた観光プロモーション活動を展開するほか、ターゲットを絞った雑誌記事掲載などによるPR活動を展開する。

観光客誘致宣伝経費	65,409千円
観光宣伝印刷物等作成経費(観光パンフ・ポスター等)	15,680千円
国内観光客誘致強化宣伝広告経費	23,000千円
<新規>(北海道新幹線の開業を視野に入れた集中キャンペーンの実施)	
<新規>(道央圏をターゲットに戊辰戦争の戦跡をテーマにした記事の雑誌掲載)	
<新規>(首都圏をターゲットに函館の自然をテーマにした記事の雑誌掲載)	
観光キャンペーン実施経費ほか	10,993千円
(各種キャンペーン,観光プロモーション,旅フェアへ参加など)	
東アジア地区観光プロモーション実施経費	11,136千円
<新規>(上海国際博覧会「北海道の日」南北海道ブロックに参加)	
<新規>(中国人観光客向けフリーペーパー広告記事掲載)	
<新規>(映画ロケ地をテーマにして,中国の旅行雑誌や旅行会社を招請)	
(トッププロモーションおよび定期プロモーションの実施)	
(在日外国人向けフリーペーパーへの広告)	
(トラベルマートへの出展など)	
海外観光客誘致促進協議会負担金	4,600千円
新規旅行商品造成補助金	3,000千円
ツインシティ交流事業費	3,965千円
青森ねぶた祭り参加経費	3,315千円
青函観光宣伝協議会負担金	650千円

(2) 観光情報の提供 10,701 千円

観光ポータルサイト関係経費	10,701千円
----------------------	-----------------

観光情報サイト「はこぶら」のコンテンツの充実に努める。

(3) 函館ブランドの確立

22,616 千円

函館のブランドイメージ「歴史」「自然・景観」「食」にスポットをあてた各種施策に取り組むとともに、人気を博している「イカール星人」のキャラクターを活用したPRを行う。

地域ブランド形成推進費 22,616千円

- 「歴史」<新規> (「箱館奉行所・箱館戦争」の特集記事を雑誌に掲載)
- 「自然・景観」<新規> (函館山裏クルーズの実証実験)
 - <新規> (建造物の意匠や歴史をテーマに冊子「函館の建物散歩」を作成)
- 「食」<新規> (「函館の食」を道央圏にPRする特集記事を雑誌に掲載)
 - <新規> (新鮮で質の高い海産物をPRする冊子「函館の寿司」を作成)
- <新規> (優れた函館特集記事紙面を取得し、観光情報サイト(はこぶら)等へ掲載)
- <新規> (イカール星人(新作動画・着ぐるみ等)を活用した観光ブランドPRの実施)
 - (MOMI - Gフェスタ, はこだてブランド映像制作, はこだてランチオン開催ほか)

2 観光資源の充実

61,569 千円

(1) 新たな観光資源の創出

4,179 千円

団体型から個人・小グループ化など観光形態の変化に対応し、函館ならではの「まちあるき」による観光を推進するルートづくりやマップ作成、イベントの実施など、各種事業を展開する。

観光資源創出経費 4,179千円

- <新規> (ルートマップによるまちあるき観光推進事業)
 - (地域でつくる小さな旅事業)
 - (はこだてチケット英語版作成ほか)

(2) イベントの充実

57,390 千円

観光行事関係経費 57,390千円

- (函館港まつり, はこだてクリスマスファンタジー, はこだて冬のイベントほか)

3 広域観光の充実

2,832 千円

「はこだて観光圏」が認定されたことを最大限に生かして、連泊型滞在観光を実現させるための各種広域観光事業を展開する。

滞在型観光促進費 2,832千円

- <新規> (函館を起点とする道南圏を巡るミニツアーの造成)
- <新規> (函館を起点とする青函圏を巡るミニツアーの造成)
 - (渡島檜山18地域を巡るチケット型道南周遊ドライブ観光の本格実験を実施)
 - ふるさと雇用再生特別交付金事業を活用(労働費に計上)
 - <新規> はこだて圏観光推進事業費 8,251千円
 - 観光博覧会などのイベント参加による広域観光プロモーションの展開や道南ならではの統一グルメ開発など、滞在型観光促進事業の実施

4 コンベンションの誘致 4,434 千円

(社)函館国際観光コンベンション協会と連携を図りながら、誘致活動に取り組む。

コンベンション誘致関係経費 1,434千円

(首都圏・道央圏における誘致活動)

(北海道コンベンション誘致推進協議会懇談会や国際ミーティング・エキスポ(IME)への参加ほか)

コンベンション開催補助金 3,000千円

昨年度に創設したコンベンション開催補助金の周知を徹底し、誘致活動に活用するとともに、市内での円滑なコンベンション開催を促す。

5 ホスピタリティの向上と受入体制の充実 127,355 千円

観光ホスピタリティ向上経費 956千円

(GW・お盆休み期間中の移動観光案内所開設、はこだて検定合格者対象ホスピタリティ講演会、観光ボランティアガイドスキルアップ研修会)

地域雇用創造推進事業を活用

観光事業者経営指導セミナー、宿泊施設即戦力人材育成講座、外国人観光客サポートガイド養成講座ほか

観光案内所(函館駅・元町)管理運営費 29,630千円

まちかど観光案内所関係経費 667千円

国際観光振興機構負担金 300千円

観光拠点地区駐車場関係経費 60,088千円

(元町観光駐車場および五稜郭観光駐車場に係る経費)

観光資源施設整備費 4,100千円

写真歴史館管理委託料および観光施設維持管理費 31,614千円

緊急雇用創出事業を活用(労働費に計上)

観光案内標識等清掃美化事業費 1,200千円

6 フィルムコミッション事業の推進 4,609 千円

映画やドラマなどのロケの支援や誘致のほか、誘致サービスの向上を図るため、魅力的なロケ地写真を掲載したホームページや貸出用DVD作成に取り組む。

はこだてフィルムコミッション関係経費 4,609千円

ロケーション誘致・支援推進費 609千円

函館港イルミネーション映画祭開催補助金 4,000千円

緊急雇用創出事業を活用(労働費に計上)

ロケーション誘致用画像データ集作成事業費 17,079千円

7 その他 45,643 千円

観光関係団体負担金 2,216千円

函館国際観光コンベンション協会補助金 34,400千円

函館市観光アドバイザー会議関係経費等 9,027千円

緊急雇用創出事業を活用(労働費に計上)

<新規>観光入込客パラメーター調査事業費 8,651千円

函館市の観光コンベンション施策体系（H20～22新規事業）

金額は平成22年度予算額または事業費を記載している

市民と観光客がともに満足できる観光振興による「まちづくり」

<観光資源の充実>

4,179千円

新たな観光資源の創出

- ・市内定額周遊チケット「はこだてチケット」実証実験(H20～)
- ・体験型観光メニュー「地域でつくる小さな旅」募集(H20～)
- ・まちあるきルートマップ作成(10コース)(H21～)
- ・ライトアップ施設巡り(ナイトツアー)実証事業(H21)
- ・ルートマップによるまちあるき観光推進事業(H22)

イベントの充実

- ・開港150周年記念開港都市まつり招へい事業(H21)

<広域観光の充実>

2,832千円

広域観光の推進による滞在型観光の実現

- ・「渡島檜山ドライブ&ステイ」実証実験(H20～)
- ・「グルメ&スイーツ満喫列車」実証実験(H20)
- ・「函館・下北半島満喫の旅3日間」実証実験(H21)
- ・「はこだて観光圏整備計画の策定、協議会設立(H21)」
- ・「はこだて観光圏の認定」期間：H22～H26
- ・「はこだて観光圏整備計画に基づく各種事業実施(H22～)」
- ・「函館を起点とする道南圏・青函圏ミニツアーの造成(H22～)」

<コンベンションの誘致>

1,434千円

誘致活動

- ・H20: 訪問実績 301件
開催実績 128件(人数:61,455人)
- ・H21: 訪問実績 204件
開催実績 138件(人数:67,800人) (うち5件が集計中)
- ・H22: 開催予定 93件(人数:39,000人)

コンベンションガイドの作成

- ・H20: 1,000部
- ・H21: 500部

【主な大会開催】

- <H20>
- ・第53回全国建具組合連合会北海道大会
- ・第21回南部忠平記念陸上競技大会
- <H21>
- ・第7回 ASEAN 次官級交通政策会合
- ・茶道裏千家淡交会
- <H22予定>
- ・電気工事業組合全国大会

<誘致宣伝の充実>

観光PR戦略の確立

函館ブランドの確立 22,616千円

ブランド発信ツール

- ・「はこだてCM放送局」～Hako Tube～開設(H20～)
- ・「タワーロボ対イカール星人」シリーズ アクセス数 約83万件(H22.3現在)
- ・「イカール星人(着ぐるみ・新作動画等)」を活用したブランドPR(H22～)

食

- ・ランチイベント「はこだてランチ」開催(H21～)
- ・食のガイドブック「オホホノ・オホ・ハコダテ」作成(H21～)
- ・函館漁業協同組合「入舟番屋」(H21～)

景観

- ・恵山ガイドマップ作成(H21)
- ・函館要塞散策マップ作成(H21)
- ・秋のイベント「はこだてMOMI-Gフェスタ」開催(H21～)
- ・函館の景観(建物散歩)冊子作成(H22)

歴史

- ・函館の歴史(箱館奉行所・箱館戦争)雑誌特集(H22)

温泉

- ・湯巡り紀行実証実験の実施(H21) 民間事業者により事業化

<函館ブランド調査分析(H21)>

- ・道央圏、首都圏の約2,000名対象
- ・インターネットを活用した調査分析

観光情報の提供 10,701千円

- ・「観光情報サイト」はこぶら、の開設(H20～)
- ・H21: サイトのリニューアル、H22: コンテンツの充実

プロモーションの推進 65,409千円

国内

- ・JR中央線・大阪環状線車体広告、首都圏観光雑誌広告、東北フリー「ハ」～広告(H20)
- ・JRソフトCM広告(イカール)、街頭ビジョン広告(イカール)(新宿アルタ・仙台アルタ)、首都圏・道央圏生活情報誌広告(H21)
- ・北関東・南東北集中キャンペーン、首都圏・道内向け雑誌広告(H22)

海外

- ・韓国・台湾・中国へのトッププロモーション(H20～)
- ・海外観光客誘致促進協議会での事業展開(H22～) H21まで韓国観光客誘致促進協議会
- ・FAMトリップ・商談会
- ・旅行博、北海道観光振興機構プロモーションへの参加
- ・香港、シンガポール、マレーシア、中国、トラベルマート(横浜)

<受入体制の充実>

4,100千円

説明・案内・景観の充実

- ・観光説明板(82基)、散策コース等案内板(40基)、坂説明柱(43基)、道路誘導案内板(96基) 計261基
- ・全ての観光標識の英文併記完了(H21)
- ・「函」道、市で歩行者用案内標識(案内板)の整備計画を策定、順次、わかりやすく、安全・円滑な移動を確保するものに整備(H21～)
- ・旧イギリス領事館再整備(H21.3 リニューアルオープン)
- ・湯の川温泉街観光街路灯改修(H21～)

<ホスピタリティの向上>

956千円

人材育成事業の実施

- ・観光ホスピタリティ研修会
- ・外国人観光客おもてなし研修会
- ・観光ボランティア勉強会(H21 箱館奉行所)
- ・移動観光案内所の開設(ゴールデンウィーク、お盆時期)
- ・「はこだて検定合格者等対象講演会」開催(H20)
- ・観光ボランティアスキルアップ研修会(H22)
- ・観光ボランティアスキルアップ研修会(H22)
- ・厚生労働省事業「観光事業者経営指導セミナー」(H21～)
- ・宿泊施設即戦力人材育成事業(H21～)

<フィルムコミッション事業の推進>

4,609千円

撮影支援活動

- ・H20: 支援実績 94件
- ・H21: 支援実績 112件

函館港イルミネーションへの支援

民間活力との連携

- ・国際民俗芸術祭
- ・はこだて国際科学祭
- ・函館野外劇
- ・湯の川オンパク
- ・ハル街
- ・イルミネーション映画祭
- ・クリスマスファンタジー
- ...

国際交流における連携

- ・韓国高陽市との交流
- ・H22 姉妹都市提携調印予定

【最近のロケ作品】

- ・海炭市叙景 (H22. 2～3月)
- ・つむじ風食堂の夜 (H20. 12月)
- ・わたし出すわ (H20. 11月)

総合交通の拡充

- ・函館空港振興協議会と一体となった、海外チャーター便等の運行促進要望

- ・H22. 12月 東北新幹線新青森開業

- ・H27 北海道新幹線新函館開業予定

- H19. 6月 中空土偶 国宝指定
- H21. 8月 函館開港150周年記念事業「DREAM BOX150」開催
- H21. 9月 地域ブランド調査2009(ブランド総合研究所) 魅力度ランキング全国第1位

- H22. 6月 函館競馬場オープン
- H22. 7月 箱館奉行所オープン
- H22. 12月 東北新幹線新青森開業

- H23 函館市縄文文化交流センターオープン予定
- H27 北海道新幹線新函館開業予定